

## 映画『Fukushima 50』 未使用の化学防護服を東京都医師会へ寄贈

『Fukushima 50』製作委員会ならびに株式会社 KADOKAWA（東京都千代田区、代表取締役社長：松原真樹）は、2020年3月6日公開の映画『Fukushima 50』の撮影において提供を受けた、旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ株式会社製の化学防護服（タイベック®ソフトウェア [https://www.tyvek.co.jp/pap/products/tyvek\\_software.php](https://www.tyvek.co.jp/pap/products/tyvek_software.php)）ほかの未使用品を、公共社団法人東京都医師会医療支援課（東京都千代田区、会長：尾崎治夫）へ寄贈致しました。

化学防護服は、2011年3月に発生した福島第一原子力発電所の事故対応に当たった作業員の方々が着用していたものと同じタイプであり、医療機関にて新型コロナウイルス感染者の治療に当たる医療従事者の方々の装備として使用できる物となります。

寄贈品は、東京都医師会を通じて都内医療従事者の方々へ配布されます。

以上

### ■寄贈品※すべて未使用品

化学防護服 XL サイズ：50 着

化学防護服 L サイズ：47 着

シューズカバー：94 足

### ■『Fukushima 50』 作品概要

- 出演：佐藤浩市 渡辺謙 吉岡秀隆 緒形直人 火野正平 平田満 萩原聖人 堀部圭亮 小倉久寛  
和田正人 石井正則 三浦誠己 堀井新太 金井勇太 増田修一朗 須田邦裕 皆川猿時  
前川泰之 Daniel Kahl 小野了 金山一彦 天野義久 金田明夫 小市慢太郎 伊藤正之  
阿南健治 中村ゆり 田口トモロヲ 篠井英介 ダンカン 泉谷しげる 津嘉山正種  
段田安則 吉岡里帆 斎藤工 富田靖子 佐野史郎 安田成美

・監督：若松節朗

・脚本：前川洋一

・音楽：岩代太郎

・原作：「死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発」門田隆将（角川文庫刊）

© 2020 『Fukushima 50』製作委員会

・公式 HP：<https://www.fukushima50.jp/>

twitter：<https://twitter.com/Fukushima50JP>

facebook：<https://www.facebook.com/fukushima50jp>

・あらすじ：あの日、原発内に残り戦い続けた50人の作業員たちを、世界は“Fukushima 50(フクシマフィフティ)”と呼んだ。

2011年3月11日午後2時46分。マグニチュード9.0、最大震度7という日本の観測史上最大の東

日本大震災が発生した。

太平洋から到達した想定外の大津波は福島第一原発(イチエフ)を襲う。内部に残り戦い続けたのは地元出身の作業員たち。外部と遮断されたイチエフ内では制御不能となった原発の暴走を止めるため、いまだ人類が経験したことのない世界初となる作戦が準備されていた。それは人の手でやるしかない命がけの作業。

同じころ、官邸内では東日本壊滅のシミュレーションが行われていた。福島第一原発を放棄した場合、被害範囲は東京を含む半径 250km。避難対象人口は約 5,000 万人。それは東日本壊滅を意味していた。避難所に残した家族を思いながら、作業員たちは戦いへと突き進む—

---

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社 KADOKAWA 広報部 E-mail: [pr-dept@kadokawa.jp](mailto:pr-dept@kadokawa.jp)